

2022年度決算のお知らせ



アイアル少額短期保険株式会社

代表取締役社長 安藤 克行

【1】貸借対照表

2022年度 貸借対照表

2023年3月31日 現在

アイアル少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	686,539	保険契約準備金	58,033
現金	14	支払備金	22,607
預貯金	686,524	責任準備金	35,425
有形固定資産	6,856	再保険借	11,329
建物附属設備	4,842	その他負債	267,997
その他の有形固定資産	2,014	未払金	258,829
無形固定資産	60,978	預り金	345
ソフトウェア	60,387	仮受金	5,536
その他の無形固定資産	590	賞与引当金	1,218
再保険貸	6,816	退職給付引当金	1,412
その他資産	101,568	未払法人税等	654
差入保証金	10,757		
保険積立金	6,752	負債の部合計	337,359
前払費用	300	(純資産の部)	
未収入金	47,292	資本金	299,420
立替金	1	資本剰余金	485,842
仮払金	7,183	資本準備金	485,842
未収還付法人税等	0	その他資本剰余金	-
供託金	22,000	利益剰余金	-203,636
貯蔵品	790	その他利益剰余金	-203,636
その他の資産(税法繰延資産)	6,490	繰越利益剰余金	-203,636
繰延税金資産	56,227	純資産の部合計	581,626
資産の部合計	918,986	負債及び純資産の部合計	918,986

【2】損益計算書

2022年度 損益計算書
(自2022年4月1日 ～ 至2023年3月31日)

アイアル少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金額
経常収益	379,039
保険料等収入	378,484
保険料	268,128
再保険収入	110,356
回収再保険金	48,402
再保険手数料	57,645
その他再保険収入	-
再保険戻戻金	4,308
責任準備金等戻入額	-
支払備金戻入額	-
責任準備金戻入額	-
資産運用収益	0
利息及び配当金収入	0
預貯金利息	0
その他経常収益	554
商品開発受託収入	-
出向負担金収入	-
その他の経常収益	554
経常費用	651,104
保険金等支払金	243,888
保険金	106,845
解約戻戻金	5,102
その他戻戻金	-
再保険料	131,939
責任準備金等繰入額	19,784
支払備金繰入額	4,677
責任準備金繰入額	15,106
事業費	387,432
営業費及び一般管理費	371,928
租税公課	3,044
減価償却費	12,459
その他経常費用	-
保険業法第113条繰延資産償却費	-
その他の経常費用	-
保険業法第113条繰延額(△)	-
経常利益(経常損失)	-272,065
特別利益	-
その他特別利益	-
特別損失	2,489
固定資産除却損	0
その他特別損失	2,489
税引前当期純利益(同当期純損失)	-274,555
法人税及び住民税	-14,691
法人税等調整額	-56,227
法人税合計	-70,919
当期純利益(当期純損失)	-203,636

個別注記表

(自 2022 年 04 月 01 日 至 2023 年 03 月 31 日)

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産、その他の資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、1998 年 4 月 1 日以降に取得した建物（附属設備を除く）および 2016 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備および構築物については定額法）を採用しております。

②無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

③リース資産

(1)所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

(2)所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

④その他の資産（税法繰延資産）

収益発現効果が見込まれる期間内での定額法を採用しております。

2. 引当金の計上基準

①退職給付引当金

当事業年度より、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、退職給付債務の見込額は、簡便法（退職給付に係る期末要支給額を退職給付債務とする方法）により計算しております。

②賞与引当金

当事業年度より、従業員の賞与の支給に充てるため、賞与支給見込額の当期負担額を計上しております。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

①消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

II. 追加情報

1. グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い

当社は、当事業年度の期首より、連結納税制度からグループ通算制度に移行しております。

これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（2021年8月12日 実務対応報告第42号（以下、「実務対応報告第42号」という。））に従っております。

また、実務対応報告42号第32項（1）に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとしてみなしております。

Ⅲ. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	4,589 千円
2. 保険契約準備金の内訳	
普通支払備金	20,566 千円
I B N R	2,041 千円
未経過保険料	27,620 千円
異常危険準備金	7,804 千円
合 計	58,033 千円

Ⅳ. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度末における発行済株式数	
普通株式	3,702,252 株

Ⅴ. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たりの純資産額	157 円 10 銭
2. 一株当たりの当期純利益	△55 円 00 銭

Ⅵ. その他の注記

1. 減価償却資産の当期減価償却可能額	12,459 千円
2. " 当期減価償却実施額	12,459 千円

以上の通りご報告申し上げます。

2023 年 3 月 31 日

アイアル少額短期保険株式会社
 代表取締役社長 安藤 克行

